

5月上旬の果樹巡回調査結果の概要について

このことについて、以下のとおりです。病虫害防除等の技術指導の参考にしてください。

このことについて、以下のとおりです。病虫害防除指導の参考にしてください。
なお、巡回調査結果は別添ファイルを参照してください。

記

【東北信】 巡回日 5月7、8、9日

1 りんご（11ほ場）

(1) 黒星病の発生はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）の無防除樹における花そう葉での発病率は2.2%（5/12時点）であった。防除間隔をあげすぎないように生育ステージに合わせ、降雨状況等を勘案して定期的に防除を行う。

2 もも（6ほ場）

(1) 灰星病による花腐れの発生はみられなかった。

(2) 縮葉病の発生は、東信地域の2ほ場でみられ、発病花そう率は0.5%であった(写真1)。

(3) ナシヒメシンクイによる芯折れの発生はみられなかった。

(4) モモハモグリガによる被害葉、カメムシ類による被害果はみられなかった。

(5) クビアカツヤカミキリおよびモモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。



写真1 モモ縮葉病の感染葉（東信地域）

3 ぶどう（5ほ場）

(1) ベと病の発生はみられなかった。

(2) 灰色かび病の発生はみられなかった。

(3) 黒とう病の発生はみられなかった。

(4) うどんこ病の発生はみられなかった。また芽しぶ症状もみられなかった。

4 うめ（2ほ場）

(1) ウメ輪紋ウイルス（PPV）の発生はみられなかった。

(2) アブラムシの寄生はみられなかった。

(3) クビアカツヤカミキリおよびモモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 5月1、2、7日

1 りんご（11ほ場）

(1) 黒星病の発生はみられなかった。

2 なし（9ほ場）

(1) 赤星病の発生はみられなかった。

(2) 黒星病の発生はみられなかった。

(3) 黒斑病の発生はみられなかった。

(4) アブラムシ類（ユキヤナギアブラムシ）の寄生はみられなかった。

3 もも（2ほ所）

- (1)縮葉病の発生はみられなかった。
- (2)ナシヒメシンクイによる芯折れの発生はみられなかった。
- (3)モモハモグリガによる被害葉、カメムシ類による被害果はみられなかった。
- (4)クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (5)モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

4 うめ（2ほ場）

- (1)ウメ輪紋ウイルス（PPV）の発生はみられなかった。
- (2)アブラムシの寄生は、全てのほ場でみられた。
- (3)クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。
- (4)モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【侵入警戒病害虫】

- (1)りんご、なしの巡回ほ場において、火傷病、コドリンガの発生はみられなかった。
- (2)ぶどうの巡回ほ場において、*Xylella fastidiosa* (Xf) の発生はみられなかった。

【その他】

- (1)ツツムネチョッキリゾウムシについて

東信のウメ巡回圃場において、ツツムネチョッキリゾウムシが寄生し、多数の果実に穴があく被害が認められた。山間部のほ場では発生が多くなる傾向がある。登録農薬はないため、落果した被害果の処分や圃地の草管理を徹底する。

- (2)ナシキジラミについて

南信のナシ巡回圃場でナシキジラミの発生が一部に見られた（写真2）。状況に応じて薬剤防除を行う。

- (3)マイマイガについて

巡回ほ場で、りんご、なし等の花そうを確認したが、幼虫の発生はみられなかった。幼虫の発生がみられた場合は、状況に応じて薬剤防除を行う。



写真2 ナシキジラミ（南信地域）